

[目 次]

2000・1

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	遠赤外 [C II] 輝線の熱的ふるまい	望月賢治 10
EUREKA 〈研究紹介〉	水蒸気メーザー源の VLBI 観測 太陽系スケールで見える 原始星周辺ガスの回転降着運動	今井裕 16
天球儀 〈読物〉	僕が指導教官になった三日間 —「君が天文学者になる三日間 —太陽系の果てに挑む—」の報告	志岐成友 24
短期連載	どうなる? これからの天文学研究環境のゆくえ (第1回)「天文学研究者人口調査」	沢武文 29
雑報	日本天文学会 早川幸男基金による 渡航報告書	37
	すばる望遠鏡の完成記念式典	38
ASTRO NEWS	宇宙スペクトル博物館〈X線編〉 『見えない星空への招待』	40
シリーズ	《海外研究室事情(1)》 Space Telescope Science Institute アメリカ合衆国, メリーランド州ボルチモア	和田桂一 42
声明文	国立大学・大学共同利用機関の独立行政法人化問題に関する 日本天文学会および 日本学術会議天文学研究連絡委員会の共同声明	44
月報だより		46

[表紙説明]

メーザースポットの分布は、野辺山-鹿島電波干渉計及び国内 VLBI (超長基線電波干渉計) 網を用いて行われた 3 回の観測 (1991 年 5 月 28 日, 1994 年 4 月 5 日および 6 月 1 日に実施) の結果を重ね合わせて得られた。ガス円盤の視線速度分布は、ガス円盤に回転しながら降着するガス塊の、ガス円盤上で衝突する際の速度分布の推定値から得られた。ガス円盤の中心に、0.3 太陽質量の原始星が存在することが推定された。

(EUREKA 参照)

[表紙 Design Concept : 三宅洋子]

ミレニアム・2000 年という節目の年に、太陽活動が極大を迎えるといわれています。我々の住む地球に絶え間なくエネルギーを与え続けてくれる太陽。その太陽をバックに最新の天文情報が伝わってきます。

地球から見ると穏やかに安定して見える星も、ずっとずっと近づいていくと、激しい変化に満ちた世界。光の変化になぞらえて、毎回カラフルに展開しますので、お楽しみに。